

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市東区多の津四丁目計画	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市東区多の津四丁目17	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条指定区域	平均居住人員	200人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,550時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年1月6日
敷地面積	9,301㎡	作成者	寺川幸子
建築面積	4,976㎡	確認日	2022年1月6日
延床面積	19,230㎡	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境やサービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F★★★★かつVOC放散量の少ない建材を全面的に採用し、かつ高い自然換気性能を確保することで、健全な空気環境づくりに努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地環境を考慮し可能な限り緑化に努めている。
LR1 エネルギー	LED照明設備など高効率設備により省エネルギー性に配慮している。	LR3 敷地外環境 光害対策に十分に配慮した計画。
Q2 サービス性能	ゆとりのある階高と空間の自由さ、積載荷重の計画により、将来用途変更可能性へ配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	建物の節水性に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される